

平成26年度 社会福祉法人南町保育会 事業報告書

1 総括

大震災及び福島第一原子力発電所の事故から3年経過したが、入所児童数の減少など運営上の支障はない。

会津若松市では各保育園で購入した食材を検査（月1回）していることもあり、残留する放射性物質を心配する保護者の方はいない。大震災当初、多摩堤保育園やさくら中央保育園の保護者の方の中には、食材産地にこだわる方がおられたが、給食サンプルに産地を明示するようにしたところ、とくにご意見はなくなった。現在主食米については、会津は喜多方市熱塩加納産米、東京は新潟産米を使用している。

南町保育園とどんぐり山保育園は、年度初めより定員を超え、受け入れ限度いっぱいの児童が在籍した。市内の出生数は減り続けているが、認可保育所の入所希望者が減少している様子はない

多摩堤保育園については、年間を通して定員が欠けることはなかった。この地区は入所希望が多く、決定までの倍率は高いものがあった。そこで行政からの要望もあり、定期利用事業（3名）を行うことになった。さくら中央保育園については、3歳以上児は定員に満たなかったが、3歳未満児は定員を上回る希望があり、設立当初70名であった定員を80名にすることになった。

ただ、現状に甘んじることはなく、24年8月に子ども・子育て関連法案が成立したこともあるので、今後は国の動向に注意し、経営安定化のための対応を考えなければならない。

26年度は次の四つの目標を持って事業の運営をしてきた。

- 1 保育士の定着化のための労働環境改善
- 2 人事評価制度の運用（2年目）
- 3 業務マニュアルの完成
- 4 認定こども園（北会津）への応募
- 5 4園の文書書式の統一

1については、福島労働局の指導を受けてくるみんマーク（次世代育成支援対策推進法では、事業主は、従業員の子育て支援のための行動計画を策定・実施し、その結果が一定の要件を満たす場合に、厚生労働大臣の認定を受けることができます。）の取得向け準備している。すでに一部の休暇制度の改正を図っている。

また、休暇取得については出来るだけ配慮し、残業については少なくなるようにしてきた。

2については、実施し、より良い運用ができ、効果も見られた。

3については、ほぼ完了することができた。ただ、こどもクラブ独自のマニュアルについては未作成であったので、3月末から作業に取り掛かることになった。

4について、応募のために試算し、検討したところ、将来償還金返済が困難になることが予想されるので取りやめた。

5については、主に保健関係の書式を共通にすることができた。

【保育事業推進】

法人の理念と保育理念に基づいた保育事業を下記のとおり推進してきた。

【保育内容】

- ・研修について

4園共に、個人別及び経験年数別研修計画を立てた。

南町保育園・どんぐり山保育園は、行政及び各保育団体の研修に積極的に参加し、またコダーイ芸術研究所講師を会津に招いて学習した。

多摩堤保育園、さくら中央保育園についてもコダーイ芸術研究所講師を招き保育室で直接指導を受けた。両園共に大田区が主催する研修にも積極的に参加した。また、定期的に田代常務理事から保育内容等について様々な助言を得た。

年度末には、すべての保育士にも共通して求められる標準的な知識や技術のレベルを明確にしておく必要があるので、共通理解をした。

今年度も4園共に株式会社による満足度調査を行った。調査結果については、保護者に情報を公開し、評価の低かった項目については職員会議等で検討し、改善した。

2 財務全般

【財務全般】

平成26年度は障がい児通所支援施設「はるか」の開所と城南第四こどもクラブ「どんぐりクラブ」の建設があり、建設資金・初期費用については「はるか」については日本財団からの補助金と自己資金で、「どんぐりクラブ」については国・県補助金、福祉医療機構借入金と自己資金で施設整備を行った。

「はるか」については計画の変更があり当初予定よりも開所が遅れ、利用者数が伸び悩んだ。

各保育園会計においては、人件費積立金や保育所施設・設備整備積立金を計画どおりに計上できずにいる。今後は中長期計画に基づいて積立金を計上できるように資金計画を作成していきたい。

こどもクラブ会計について 謹教こどもクラブ、神指こどもクラブについては会津若松市からの委託料の範囲内で運営が行われた。27年度は「城南第4こどもクラブ」「松長第一・第二・第三こどもクラブ」の運営が始まり、予算規模も大きくなっていく。今後とも予算管理を徹底し、有効に活用していきたい。

3 各保育園の事業計画の評価

【南町保育園】

A 事業評価

- ① それぞれの年齢クラスの保育が繋がるようにしたいということで、昨年度に引き続き研修をしたが、目的を達成することができた。研修については担当者を設けて、月に1～2回課題を明確にして研修することができた。また、個別研修も実施することができた。
- ② 幼児3クラスでは、昨年度に引き続き外部講師による美術研修（月2回）を行ったが、このことが年度末の作品展に繋がるなど園児が造形活動に参加する面白さを体験することができた。
- ③ 個人情報保護については、保育士手帳を基に研修ができた。
- ④ 新会計については、税理士事務所と連携して滞りなく移行できた。
- ⑤ 第二駐車場整備については、共同募金に応募したところ交付が決定した。年内に舗装工事を実施したい。

B 満足度調査 P社による（配布90世帯 回収81世帯 回収率90%）

総合評価 十分に満足している 59% ある程度満足している 35% どちらとも言えない 5% あまり満足していない 1%

C 苦情・要望について 6件

【どんぐり山保育園】

A 事業評価

① 業務マニュアル、手順書の運用、見直し

保育内容以外のマニュアルについては完成し、見直しをしながら進めることができた。保育の手順書については、法人の保育の核を確認しながら進めることで時間がかかってしまった。

② 外部講師によるわらべうた及び課業の研修

地元のわらべうたを子どもの物にすることと3歳未満児にとってはいつでもどこでも必要な時にうたってあげることが必要なことを学んだ。

課業についてはどんぐり山・南町保育園幼児の公開保育を行い、計4回指導を受ける。大人の動きを考える機会になり、他施設を見ることで刺激にもなった。

③ 3歳未満児の保育の質の向上（保育の実際の読みあわせ）

3歳未満児リーダーを中心にクラス会議前の時間に読みあわせる場所を決めて行うことができた。今後、ビデオ研修等を行い具体的な話し合いができるように進めていきたい。

④ 地域との連携強化

町内、畑ボランティア、縫物ボランティアの方々をはじめ、児童相談所、教育委員会、小学校とも連携を図ることができた。

⑤ 屋根、外壁塗装 赤い羽根共同募金を受託できたので、事業を実施することができた。

⑥ 創立10周年記念事業

11月1日（土）に城南コミセンで関係者出席（来賓38名・職員32名）により行うことができた。

B 満足度満足度調査

園についての総合評価「十分に満足している」61%、「ある程度満足している」30%「どちらともいえない」6%「あまり満足していない」3%

（配布98世帯 回収96世帯 回収率98%）

C 苦情・要望 1件

【多摩堤保育園】

A 事業評価

① 保育の質の向上

- ・異年令混合保育を実施。年長の姿（振る舞い）に変化が見られた。年少の保護者から多少の心配意見があったが、後半は良かったという意見に変わってきた。
- ・わらべうた講師の指導も3年目になり、後半、課業の指導を学ぶ。乳児保育もコ研講師の元、公開保育をしながら、環境設定・日課の流れ・大人の動き等、研修した。
- ・保育記録のつけ方については、継続して学習していきたい。
- ・自主的にビデオを取り合い、OJT研修で共通理解、学習ができた。

② 園庭あそびの充実

- ・砂場の拡張工事完成・木製吊り遊具の完成（ロープ・ネット・回転板等）・丸太・木の板等でバランス遊び、お家ごっこ等広がってきている。

③ 地域子育て支援の充実

- ・児童館とのつながり 児童館職員によるボランティア（子育てひろば）
- ・父母の会との連携 園庭にて移動動物園・AED研修・講演会（松居和氏）

④ ごみ置き場の屋根つけ、1歳児用便座改修終了。屋上の整備は繰越

B 満足度調査

園についての総合評価 「大変満足」42% 「満足」38%

「どちらともいえない」8% 「不満」6% 「大変不満」2% 「無回答」4%

（配布98世帯 回収50世帯 回収率51%）

C 苦情・要望 6件（近隣から2件）

【さくら中央保育園】

A 事業評価

① 新人保育士の育成

新人保育士と年齢の近い職員を指導・相談役にしたことで、新人ゆえの悩みや相談に細やかに応じることができ、早期に問題を解決することができた。園内研修に主体的に参加する機会をそれぞれに設けたことも、その後の会議に積極的に参加する姿になった。

② 法人保育士になるための研修

年度初めに保育士手帳をもとに共通理解するための園内研修を行った。その中で特に組織の中で主体的に仕事することについては、一年を通して職員が意識するようになり大きく変わってきた点である。また、保育のキーワードの捉え方も同じように変わってきた。

③ 園庭およびテラスへの固定遊具の設置

2階テラスに雲梯とクライミングの固定遊具を設置した。特に幼児クラスの運動あそびの充実につながった

④ 地域との連携を図る

子育て支援かりんの活動が定着し、そこから保護者同士の交流・保育園への入園・緊急一時保育などにつながっていった。

⑤ 職員の定着（職員の主体性を育てる）

法人組織への理解や主体的に仕事することなど、以前に比べると厳しいことを求めてきたが、職員にとっては難しさだけでなく達成感ややりがいを感じた一年となったようである。また、園内研修を充実したことで、法人保育への理解や職員間のコミュニケーションの深まりにもつながりよかったのではないかと思う。

B 満足度調査について

○総合的な満足度

大変満足 37.5% 満足 47.5% どちらともいえない 10.0% 不満 0% 大変不満 0% 無回答 5.0%

（配布62世帯 回収40世帯 回収率64%）

C 苦情・要望について 苦情1件 要望1件

【子育て支援センター】

「赤ちゃん広場」

延べ利用人数 4,583人 一日平均利用人数18名

「なのはな」

延べ利用人数 2, 587人 一日平均利用人数11名

ネットや友だちの紹介、乳児全戸訪問事業による利用があった。

【こどもクラブ】

神指、謹教第一・第二こどもクラブ経験のある職員を配置して安全に運営できた。また、子ども同士の遊びや休息にも配慮できた。

【はるか】

初年度にあたり、サービス向上のための研修や事業の広報に努めた。

4 理事会・評議員会

日時・場所	主な審議案件	出席	欠席	監事
5月24日 (土) 城南コミセン	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年度事業報告及び決算報告 平成26年度補正予算(案) 障がい児通所支援事業の発達支援管理責任者の推薦について 	評議員 15 理事 7	評議員 0 理事 0	有(2) 有(2)
6月26日 (木) 謹教コミセン	<ul style="list-style-type: none"> どんぐり山保育園外装工事契約について 障がい児通所支援施設事業計画及び補正予算(案)について 障がい児通所支援施設工事契約について 城南第4こどもクラブの工事契約承認等について 	理事 7	理事 0	有(2)
7月3日 (木) 謹教コミセン	<ul style="list-style-type: none"> 工事契約承認(どんぐり山保育園外装工事・障がい児通所支援施設)について 障がい児通所支援施設事業計画及び補正予算(案) 城南第4こどもクラブの工事について 	評議員 10	評議員 5	
8月23日 (土) 謹教コミセン	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度補正予算(案) 	評議員 15 理事 7名	評議員 15 理事 0	有(1)
9月6日 (土) 謹教コミセン	<ul style="list-style-type: none"> 城南第4こどもクラブ工事契約承認の件 平成26年度こどもクラブ補正予算(案)について 松長こどもクラブ運営委託応募について 	評議員 12 理事 6	評議員 3 理事 1	有(1)
12月13日 (土) 城南コミセン	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度補正予算(案) 定款変更について・松長こどもクラブ運営受託について 理事及び監事の選任について 	評議員 13	評議員 2	有(1)

12月13日(土) 城南コミセン	・平成26年度補正予算(案) ・定款変更について・松長こどもクラブ運営受託について ・評議員の選任について	理事 6	理事 1	有(1)
12月22日(月) 城南コミセン	・理事長及び常務理事の指名について ・職務代理者の選任について	理事 7	理事 0	有(1)
3月20日(金)	・平成26年度補正予算(案)・平成27年度事業計画(案)及び 予算(案)について・定款変更について・経理規程及び育児・介護 休暇等に関する規約改正について・	評議員 13 理事 6	評議員 2 理事 1	有(1)

5 職員会議等

職員会議が、最上位の会議であるが、そこにかかる事項で重要なものについては、リーダー会で事前に検討のうえ、提案される。リーダー会は幹部職員と各クラスのリーダーで構成される。

また、職員や児童・保護者のプライバシーに関わることや経営の根幹に関わるものについては、幹部職員による経営会議を開催する。

会議の名称	参加範囲	回数
経営会議	園長・副園長・主任・副主任(随時事務員)	随時
リスクマネジメント委員会	園長・副園長・主任・副主任 保健係・安全係	毎月1回(昼)
リーダー会議	上記メンバーと各クラスリーダー	毎月1回(昼)
定例職員会議	全職員(用務員、短時間勤務職員を除く)	毎月1回(夜)
乳幼児会議	クラス担任	毎月1回(夜)
ケース会議	関係職員	随時(昼)
幼児会議	主に行事等の打ち合わせ	随時(昼)

7 専門委員会

委員会の名称	理事定数	職員定数	備考
苦情処理委員会			第三者への申立てなし
懲罰審査委員会			開催なし

8 役員の研修

○日時 平成26年10月14日～16日

○場所 全国社会福祉施設経営者協議会 郡山市 ビッグパレット

○参加者 金子理事長 佐藤監事

○理事長は、福島県社会福祉法人経営者協議会理事として、制度改革に関する社会保障審議会(厚労省)の動向について学ぶ機会がある。

9 開園日及び延長保育について

- (1) 開園日 南町保育会の規則のとおり
- (2) 延長保育は午後6時より7時まで
ただし多摩堤保育園の延長保育は午後6時15分から8時15分まで
さくら中央保育園は午後6時15分から7時15分まで

10 情報公開・機関紙発行等

(1) 情報公開

4園共にインターネット上にHPを公開。決算書及び事業報告書も公開した。

(2) 機関紙の発行

南町保育園として旧南町一丁目、同二丁目、城南通り町内会に「南保だより」を回覧した。どんぐり山保育園についても地域の小学校、町内会に「どんぐりだより」を回覧（年2回）した。

多摩堤保育園については、地域に向けて「多摩堤通信」（月1回）を発行し、小学校3校、第三者委員2名、町会長、副町会長、児童館、出張所、郵便局、隣家にも配布。町内会掲示板にも掲示した。

さくら中央保育園には、地域に向けて「さくら中央保育園地域だより」を発行し、小学校4校、大森第三中学校に郵送。子育てひろばだより「かりん」は月1回発行し、子育てひろばに参加した家庭や見学者に配布した。

4園共に園だより、クラスだより、給食だよりを毎月発行し、保健だより、図書だよりも発行した。

11 給食及び食育

南町保育園は栄養士1名と調理員3名（常勤2名、短時間勤務1名）で給食を提供してきた。年々見た目や味の向上務めているので、児童の残食は少なく、保護者の満足度調査による評価も高いものがある。実際に、保育園を選ぶ基準に、給食やおやつによさをあげる保護者が増えている。

どんぐり山保育園は味噌の良さを再認識し、手作り味噌を試作した。畑活動では、ボランティアとの活動が自分たちのものとなってきており、収穫の喜びにもつながっていった。

多摩堤保育園では、栄養士1名と調理員3名で提供してきた。行事の焼き芋会、バーベキューなどには力を発揮して子どもたちに喜ばれている。4園合同献立になり会津の献立で伝統料理を食することができ喜ばれた。保護者の中には興味を持ってレシピを持ち帰る方がいた。

さくら中央保育園は、栄養士1と調理員2名、補助員1名で提供してきた。アレルギー児が多い中で和食中心の献立は好評で、第三者評価での保護者の評価も高い。ここでもレシピの持ち帰りがあった。

12 健康・安全

(1) 健康

年2回、歯科検診と内科検診を実施したが、健康上特に問題のある子どもはいなかった。ぎょう虫検査も実施したが、陽性の児童はいなかった。

インフルエンザについて、南町保育園では発生が少なかった。どんぐり山保育園では発生はなかった。多摩堤保育園・さくら中央保育園では、特に問題はなかった。

各園ともアレルギーを持つ児童は在籍しているが、その数は多くない。多摩堤保育園では、毎年減少傾向にあり、7人から5人に減った。除去食は医師の診断書に基づいて提供している。

(2) 安全管理

各園共に避難訓練を毎月1回実施した。

設備や遊具の安全点検も、毎月1回安全係と園長、主任と一緒に園庭や園舎内を見回り行なった。また、ヒヤリハットした時は、報告書を提出するようにして、危険にはすぐに対応することにした。不審者に対する訓練は各園1～3回行なった。